

SSKS 風の子便り

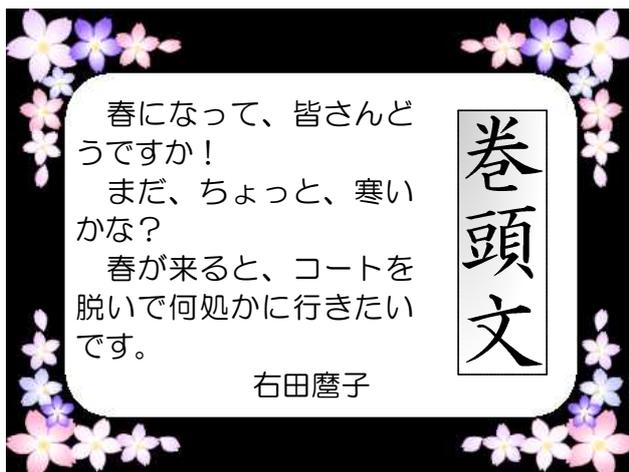
ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆もちつき大会感想 2
- ☆虫めがね1 3
- ☆虫めがね2
・活動報告・スケジュール 4
- ☆夕会便り・学習会報告 5
- ☆小野塚連載 6
- ☆太田連載・寄付のお礼 7
- ☆編集後記 8





春になって、皆さんどうですか！
まだ、ちょっと、寒いかな？
春が来ると、コートを脱いで何処かに行きたいです。

右田 磨子

1月23日にカナルサイド高浜で餅つき大会が開かれました。僕は好きな人と一緒にきねを持ってお餅をつきました。幸せでした。

お餅はのり、大根おろし、あんこ、雑煮、きなこの5種類です。全部食べました。美味しかったです。

平成23年2月1日、風の子会企画部柳川 敬事。

餅つき大会感想



一月三十日（日）午前十時～十二時ごろまで、カナルサイド高浜にて、おもちつき大会が行われ、風の子会の代表者数名が参加をしました。二階のエレベーターホールで、寒いなか皆で順番を決めて、楽しくお餅つきを行いました。つきたてのお餅は(お雑煮・きな粉・あんこ・からみ)などにして、おいしくいただきました。楽しかったです。

北原 明美

初めてボランティアに参加しました(^-^)
最初はちょっと緊張してちゃんと出来るか不安だったけど、みんな優しく接してくれたので、楽しく過ごせました(^-^)

お餅もすごく美味しかったしみんなも美味しそうに食べてましたね～♪

是非また遊びに行きたいと思っています！☆

みなさん、またよろしくお願ひしますね♪♪

平沼 侑華



一月二十三日風の子では、恒例になった餅つき大会が実習所で開かれました。お餅をついてくれたのはボランティアさんや二階の事務所の人たちがついてくれました。僕は途中でお餅を一回つきましたが、とても大変だなあと思いました。何しろ、杵を僕も一回ボランティアさんと一緒に下ろしましたが、とても大変でした。昔の人は大変だったんだなあとつくづく思いました。そして、ついた後餅をいただきましたが、とても美味しかったです。本当にどうもありがとうございました。

太田 稔

私が特に感銘を受けたテレビドラマがある。皆さんもごらんになったと思うが、坂の上の雲である。この小説をNHKが二年間に及ぶ準備期間をもって、外国のロケ先との交渉、その当時の軍人の服装（日清日露戦争当時の陸海軍の軍服）を見事に再現するなど、NHKのこだわりが伺える。当時の佐世保の軍港、町並みの風景や、出撃する艦隊を見送る庶民の服装から見ても、貧乏な国であったことが解る。私は、時代考証は完璧のままであり、さすがはNHKだ、と安心して見ていられた。この壮大なスケールのドラマは、今年の十二月が来ないと、ドラマ最大のクライマックスの見せ場、日本海海戦が見られないのだ。今から待ち遠しいのである。

和栗 顕太郎



僕がテレビ番組で印象に残っているのは、昭和三十五年頃に日曜劇場で放送された当時のスター香川京子主演の「女中っ子」というドラマ。両親がそろっていながら、小学校三年生くらいの男の子が、女中さんを（お手伝いさんのこと）慕うようになり、とうとう女中さんがクビになると、その男の子は自分の家を出て女中さんの乗った列車に自分も乗り込んで、東北の寂れた駅で再会を果たすという粗筋。僕も小さい頃、ドラマほどではないが同じような経験があるのです。僕の話はまた別の機会に書いてみたいと思っています。

太田 稔



柳川 敬事



僕の好きなテレビドラマ
マは草薙さんが主演した恋に落ちたら、僕の成功の秘密です。特に好きなシーンは最終回の場面です。剛さんと奈緒さんがキスをした所です。僕は心に決めてる事があります。それは、松下さんに似た人と付き合いたいです。



好きな映画はアクション映画が好きで、最近だと木村拓哉主演のヤマトが好きです。

また、アメリカ映画のロッキーも好きで、ボクサー役のシルベスタスタローンの声はささきいさおさんがやっています。

好きなラジオは、ラジオ100まんにんの英語で、発音が難しいけど、講師はとっても話題がいっぱいです。

三宅祐司のニッポン放送も好きで、ヤングパラダイスが好きでした。

大ファンになりました。打ち切りになってさみしいです。

好きなテレビ番組はものまねバトルが好きです。紅組白組に別れておもしろいし、歌もうまいです。お母さんの影響で時代劇もみるようになり、感謝しています。

松本 恵司

スケジュール

一月十八日（火）
・・・運営委員会

一月二十三日（月）
・・・カナルサイド
高浜もちつき大会

活動報告

一月八日（土）午後一時～三時三十分ごろまで、皆で初詣といふことで、泉岳寺に行きました。一人一人の願いを神頼みをしていました。何をお願いをしたかは、ナ・イ・シヨで。その後は、忠臣蔵でおなじみの大石内蔵助ら47人が眠っている、お墓を見てきました。そこは、バリアフリーで車いすでも回れることに感動しました。その他は、メンバーも職員も風邪を拗らして休む人が多く出てしまいました。皆さんも、風邪には注意しましょう！

田中 聡



学習会報告

1月5日、学習会の予定決めをしました。

1月12日に風の子のみんなで映画アラジンを見ました。感動でした。

昔を思い出しました。中3の時に劇をやりました。それがアラジンだったのです。

僕が主役を務めました。お姫様役は奥秋さんでした。劇は大成功しました。

1月19日、風の子のみんなでテーブルゲームをやりました。



僕はトランプが得意です。その日は負けました。次は勝ちます。

1月26日は人がいなかったなので、テーブルゲームをしました。

柳川 敬事

夕会便り

1月は特に大きな行事もなく、喫緊に決めなければならない議案もなく、ゆったりとした話し合いが多かったように感じられた。学習会で観る映画を決めていなかったのもみんなで観たい映画を決めたり、同じく学習会で行うバレンタインについても具体的には何も決まっておらず、夕会の場で話し合った（本来学習会の件は学習会の時間内に話し合うべきだと思うのだが）。

他には、今年の外に出ようの目的地について話し合った。ここ何年かの風の子案の出方は墨田区、新宿区、台東区といったようにエリアを大きく拡げすぎてしまっているように感じられる。もう少しテーマ性というか目的性を絞った案としてまとめた方がよいように思われる（余談だが今年度代表者会議はまだ一度もこの記事を書いている時点では一開かれていない。そろそろ始めないとという若干の懸念がよぎる）。

三つ目。東京都福祉保健局からの委託事業として、テンプスタッフフロンティアなる会社が授産品カタログを制作するらしく、風の子会も掲載しませんかという誘いが来た。初めはみんなやや訝しんでいたが、詳しく説明を聞くにつれて会の紹介になるのならいいのではないかと、という方向へ話が展開していく（具体的にどのように載せるかについては現時点ではまだ未定）。

小野塚 航

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第34話 雪だ！ 温泉だ！ 一泊旅行だ！

「イチの卒業を祝って、一泊旅行でもしないか？」部屋で鍋を囲みながら、ふと思いついたことを口に出してみる。「なんか楽しそう」「行くとしたら、どのへんですかね」トモとヒロセが乗り気になり、イチもつられる「鈍行の電車にでも乗って、ゆらゆらと電車旅というのもいいかもな」。

大学4年目が終わって休みに入った頃、部屋で鍋をしようということになり、たまたまいたイチと、来年度（つまり僕にとっての5年目という意味だ）同じ部屋に住むことになったヒロセ、それに春休みに入って暇をもてあましていたトモと僕の4人が集まったのだ。「電車旅ですか。どのへんまで行けますかね」鍋を片付けながらヒロセが問う。「あたし雪景色がみたいな」目を輝かせながらトモ。「雪か。寒いのが苦手だな」「長野あたりかな」イチの発言を僕がスルーする。「俺の卒業祝いだろ？」「諏訪あたりはどうか？」「いいですね」「積もってるかなあ」「・・・あのお・・・」イチをスルーしつつ目的地を決める。「よし、では蓼科に決定ということで！」4人でグラスをカチリと合わせて鍋をお開きにする。

3月下旬に日程を調整し、ホテルをチェックしJRの乗り換えを確認する。時期的に雪はある程度期待できそうだし（当日に降られると厄介だが）うまい飯と温泉を満喫できることをそれぞれに夢見ながら時は過ぎていく。そして当日、旅支度を調べて食堂に集まる。「いい天気ですね」「温泉楽しみ！」「乗り換えチェックOKだな？」「まあ、なんとかなるっしょ」それぞれに騒ぎながら寮を出る。

町田駅からJRの横浜線に乗り八王子駅へ行く。八王子で中央本線に乗り換えて長野県諏訪市、茅野駅までの鈍行電車旅が始まる。中央本線は、高速の中央道とほぼ並行して走る電車だ。山間をかき分け、川沿いを渡りながら電車はのろのろと進んでいく。「こういうふうには電車にゆらゆら揺られて旅するのもいいもんですね」車窓に流れる風景に視線を置きながらヒロセはポツリと言う。相模湖を過ぎるとあたりはもうすっかり山間の田舎風景になる。陽差しも暖かく、良い旅日和だ。「今夜は確かフレンチを予約してるんですよ。スーツ持ってこいとかわかれてて、緊張するな」イチの卒業祝いで、そういうイベントを準備しているのだ。「イチのスーツ姿、楽しみだな」「どうせ馬子にも衣装とかいうんだろ？」「そのとおり！」ニヤリと笑いながら僕はイチをからかう。「ヅカシとイチ、はいチーズ！」ファインダー越しにそういうトモにつられて僕とイチは肩を組む。

「大丈夫か？」「・・・何がだよ？」肩を組みながらイチがそっとつぶやく。「おまえの5年目のことだよ」いつになく真剣にそういうイチに多少戸惑いつつも「なんとかなるだろ」とさり気なく言う。「・・・こうなっちゃったのも、俺自身の甲斐性故だしな・・・」つぶやくように言った言葉を、イチは聞き逃さなかった。「そういっちゃえばそうなんだがな・・・ま、頑張れや。応援はしているからな」

電車は、茅野駅に着いた。

～ 後編につづく ～



その「青い芝の会」を僕に紹介してくれた人が、今度は僕に日帰り旅行に誘ってくれたのです。当時は障害者の保養所もなかったため、日帰り旅行が最大の会のイベントだったのです。しかもその頃はボランティアさんなんていませんから、重度者の僕なんかは、最初から諦めなくてはならなかったのです。ところがうちの母は「稔だけいけないなんて可哀想だわ。私が忙しいけれど連れて行ってあげる」母は、そう言いながら僕を日帰り旅行へとよく連れていってくれた。

太田 稔

※和栗さんの連載、あんパン物語は一月毎の連載となり、続きは次号からとなります。



僕の生い立ち

〜第五話〜

寄付のお礼

賛助会にご賛同して下さった方

長野松男様、雨宮容子様

寄付を下された方

松本成子様、島村亨延様、小野田和子様

ご協力ありがとうございました。

編集後記

最近は、「日の入り」時間が徐々に延びた様な感じがしてきた気がします。というのは、夕方の五時と言ってもまだ明るいいし、西日が強く当たるような感じがしてきたからです。少しずつ春が近づいているのかなと思う今日この頃です。

三木 直人

新職員体制に早くも一年になります。新しく職員になった丸山さん、山名さん、平沼さんの三人の方は風の子会の雰囲気や年間行事等が解って来たと思います。所長も丸岡さんから岡本裕介さんに変更になり忙しそうに仕事をしていて私との会話が少なくなった様な気がします。一年前に職員が四人も退職し新人が入り今の風の子会は雰囲気が一味違う様に思います。私は週一回、通所していますが、まだ右も左もよく分からない事ばかりなので、皆様のご指導を宜しく願います！

幸 高史

今回の冬（11月～2月あたり）でとうとう初めて（？）インフルエンザに罹ってしまいました。今まで毎年予防注射を射たないでも大丈夫だったのですが。今回も予防注射をやっていなかったとは言え、軽症（？）で済みました。勿論、タミフルで副作用なんか出る訳も無く。まああの症状はタミフルは無関係というのが通説ですが。皆さんもインフルエンザを始め、風邪等にお気を付け下さい。

田村 亮彦

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

柳吉右松田小太
川田田本中野田
敬久磨恵圭
事代子司聡航子

和幸三田佐太
栗木村久田
顕間
太高直亮
郎史人彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砦6-26-21

